

| | | | | | | | |
|------|---------------|------|----|------|---|------|------|
| 科目名 | ソーシャルワーク演習Ⅳ F | | | | | 単位 | 2.0 |
| 担当教員 | 武藤 敦士 | | | | | | |
| 授業形態 | 演習 | 開講期間 | 後期 | 配当年次 | 3 | 授業番号 | 2437 |

●授業のテーマ

相談援助に係る知識と技術

●到達目標

相談援助の知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができるようになる。

●学習内容(授業概要)

地域福祉の基盤整備と開発に係る事例を活用し

- ①地域住民に対するアウトリーチとニーズ把握
- ②地域福祉の計画
- ③ネットワーキング
- ④社会資源の活用・調整・開発
- ⑤サービスの評価

について実技指導を行う。

さらに、地域住民に対するアウトリーチの方法と、ニーズ把握について実践的方法を身につけ、具体的な事例に基づきその技術を習得する。

地域福祉の計画について、具体的な市町村地域を事例として地域福祉計画策定プロセスをシミュレーション的に実践し、その方法等について理解する。

地域住民及び関係者(機関・団体)のネットワーキングの方法及び実践的展開方法を身につけるとともに、具体的な事例に基づきその技術を習得する。

また、社会資源の活用・調整・開発について具体的な事例に基づきその実技指導を行い、実践的能力を獲得する

●学習内容(授業計画)

《後期》

1. アウトリーチに関する理解と実践方法
2. 住民ニーズの実践的把握①基礎資料的接近型調査と問題解決的接近型調査
3. 住民ニーズの実践的把握②理論構成的接近型調査と話し合い
4. 実際の住民ニーズ把握とアウトリーチの実践(事例を通じて)
5. 地域福祉の計画①地域福祉計画と地域福祉活動計画
6. 地域福祉の計画②事例による社会資源の現状分析と社会資源開発の展望
7. 地域福祉の計画③事例による地域特性の把握・ニーズ分析・計画化
8. ネットワーキングに関する理解と実践①地域組織化と福祉組織化
9. ネットワーキングに関する理解と実践②福祉専門職のネットワーク事例を通じて
10. 社会資源の活用に関する理解と実践①地域社会における社会資源の活用事例を通じて
11. 社会資源の調整に関する理解と実践②コーディネート機能の理解と実践事例を通じて
12. 社会資源の調整に関する理解と実践③ソーシャルデベロップメント機能の理解と実践事例を通じて
13. サービス評価の方法について(その類型と方法)
14. サービス評価の実践的方法について(実践事例を通じて)
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

毎回の授業のテーマ事に、自分の体験した分野での実習との違いや共通点をまとめておく。授業後は、テーマに沿って関連する領域についてさらに調べておく

●成績評価方法・基準

小レポート (25%) 集団論議の進行・内容 (25%) 発表及び内容 (50%)

●テキスト (必携)

事例集を配布する他、演習の中で指示する

●参考文献／その他

演習時に指示する

●履修上の注意

毎回出席し、グループでの討議に参加することを通じ、さまざまな意見の存在と自分の意見との違いを認識する